

故障かな!?

修理を依頼する前に、この表で症状をお確かめください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

こんなときは

演奏できない

ここをチェック

- A. HOLD 状態になっていませんか。
- B. ディスクは正しく固定されていますか。
- C. ディスクに汚れや傷が付いていませんか。
- D. 露がついていませんか。

これでOK!

- A. HOLD 状態を解除する。
- B. カチッと音がするまで指で押さえて固定する。
- C. 汚れは柔らかい布でふき取り、傷が付いたディスクは取り換える。
- D. 約 1 時間待ってから使用する。

音が聞こえない
音が聞こえにくい
雑音が入る

- A. インサイドホンプラグまたは、リモコンプラグが奥まで入っていますか。
- B. プラグが汚れていませんか。
- C. 本機と携帯電話を近づけて使っていませんか。

- A. しっかりと差し込む。
- B. プラグの汚れをきれいにふきとる。
- C. 本機から携帯電話を離す。

1 曲目から順番に演奏しない

- A. 演奏モードがランダムになっていませんか。
- B. 前回ディスクの途中で演奏を止めませんでしたか。

- A. ランダム(RANDOM)を解除する。
- B. リジューム機能なので問題ありません。

充電できない

- 付属、または指定の別売り充電式電池をお使いですか。

- 8 ページの「充電式電池の買い替えは」をお読みください。

テレビの画面が乱れる
本機以外のラジオ
放送に雑音が入る

- 本機をテレビやステレオ機器のチューナーの近くで使っていませんか。

- 本機をテレビやチューナーから離しておく。

正確に受信できない
TV(1 ~ 3ch)が聞けない

- 周波数ステップが海外向けになっていませんか。

- 23 ページの「海外で受信するには」をお読みください。

便利メモ(おぼえのため、記入されると便利です。)

販売店名	☎ () -	お買い上げ日	年 月 日
お客様 ご相談窓口	☎ () -	品番	SL-SX289V

松下電器産業株式会社 デジタル AV ネットワーク事業部 RQT6000-S F0301KN0

〒571-8505 大阪府門真市松生町1番4号

© Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. (松下電器産業株式会社) 2001



Panasonic®

ポータブル CD プレーヤー
Portable CD player

取扱説明書

Operating Instructions

品番 SL-SX289V

もくじ

操作の前に

安全上のご注意	2
付属品の確認	6
電源の準備	6
ホールド機能	9

CD

CD を聞く	10
便利な使いかた	13
耐振機能について アンチスキップシステム (ANTI-SKIP SYSTEM)	15

ラジオ

ラジオを聞く前に	15
ラジオを聞く	16
放送局を記憶させて聞く	18
海外で受信するには	23

音質

音質を変えて楽しむ	24
-----------	----

ご参考

別売り品と組み合わせて使う	24
各部のなまえ Operating Instructions	26
使用上のお願い	28
お手入れ	28
CD について	28
主な仕様	29
保証とアフターサービス	30
故障かな!?	裏表紙

RQT6000-S

このたびは、ポータブル CD プレーヤーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。



この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。



保証書別添付

上手に使うと上手に節電

安全上のご注意

必ずお守りください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。


表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。


危険 この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。

警告 この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

注意 この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)

 このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

 この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

充電式電池

危険

充電は、本機(本体と付属の AC アダプター)を使う本機以外で充電すると、電池の液もれや、発熱、破裂の原因になります。充電式電池も必ず指定のものをご使用ください。

はんだ付け、分解、改造したり、火の中へ投入、加熱はしない電池の液もれや、発熱、破裂の原因になります。



警告

⊕ と ⊖ をショートさせない



電池の液もれや、発熱、破裂の原因になります。ネックレスなどの金属物といっしょに携帯、保管する場合は、必ず付属の充電式電池ケースに入れてください。電池には安全のためビニールをかぶせています。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください。はがれたものは使わないでください。

本体

警告

分解・改造しない



本体が故障したり、金属物が入ると、やけどや火災の原因になります。点検や修理は、販売店にご相談ください。

分解禁止

バイクや自動車、自転車などの運転中は、ステレオインサイドホンで使わない周囲の音が聞こえにくく、交通事故の原因になります。歩行中(特に、踏切や横断歩道)でも周囲の交通に十分注意してください。交通安全のため自動車運転中は CD プレーヤーを操作しないでください。

注意

ステレオインサイドホン使用時は音量を上げすぎない



耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

ステレオインサイドホンなど肌に直接触れる部分に異常を感じたら使用を中止するそのまま使用すると炎症やかぶれなどの原因になることがあります。



ひび割れ、変形したディスクやハート型等の特殊形状のディスクは使わない高速回転しますので、飛び散ったり、飛び出したりして、けがの原因になることがあります。接着剤などで補修したディスクも同様に危険ですので使用しないでください。



安全上のご注意 必ずお守りください。

異常に温度が高くなる場所に置かない



本体表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
夏の閉め切った自動車内や直射日光の当たるところに長時間放置したり、ストーブの近くに置いたりしないでください。

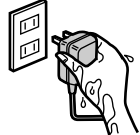
AC アダプター

警告

ぬれた手で、AC アダプターの抜き差しはしない
感電の原因になります。



ぬれ手禁止



コード・プラグを破損するようなことはしない



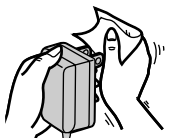
傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。
傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 (AC) 100 V 以外での使用はしない



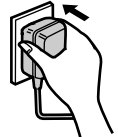
たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

プラグのほこり等は定期的にとる



プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。AC アダプターを抜き、乾いた布でふいてください。
長期間使用しないときは、AC アダプターを抜いてください。

プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

注意

抜き差しは AC アダプター本体を持つ



コードを引っ張ると、コードが傷ついたり、ちぎれたりし、火災や感電の原因になることがあります。

付属の AC アダプターを使う



指定外の AC アダプターを使用すると、火災の原因になることがあります。

カーオーディオとの接続について

警告

運転に支障をきたすところに取り付けない



前方視界や運転操作を妨げるところに取り付けると、交通事故の原因になります。

カー電源アダプターのヒューズは指定のヒューズを使う



交換時に指定外のヒューズを使うと、火災の原因になります。

電池

注意

電池は正しく取り扱う



⊕ と ⊖ は正しく入れる
長期間使用しないときは、取り出しておく

電池は誤った使い方をしない



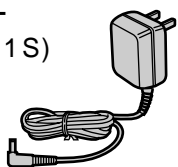
新・旧電池や、違う種類の電池をいっしょに使用しない
加熱、分解したり、水、火の中へ入れたりしない
ネックレスなどの金属物といっしょにしない
被覆のはがれた電池は使わない

取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になります。
万一液もれが起こったら、販売店にご相談ください。
液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

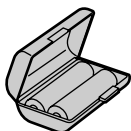
付属品の確認

付属品

ACアダプター
(RFEA415J-1S)



単3形ニカド充電式電池：2個
充電式電池ケース(RXQ0449)から
取り出してご使用ください。



ステレオインサイドホン
(L0BAB0000124)



リモコン
(N2QCBD000011)



(カッコ内の品番が現品の品番表示と異なる場合がありますが、仕様は同じです。)

付属品の買い替えについて
サービスルートでお買い求めいただけます。上記カッコ内の品番で、お買い上げの販売店にご注文ください。(充電式電池は別売り品をお買い求めください。➡8ページ)

別売り品でお買い求めいただけるもの
「別売り品と組み合わせて使う」(➡24～25ページ)をご参照ください。

電源の準備

お願い：

記憶した設定(➡18～19ページ)を消さないためには

ACアダプターの抜きさしあるいは電池の交換時は、先に本体の電源を切ってから行ってください。

本機はACアダプターと電池を取り外した状態でも、約1分間は記憶した設定を保持します。この間にACアダプターに接続するか、電池を入れてください。

ACアダプターやカーアダプターを使う際にも、電池を入れておくことをおすすめします。

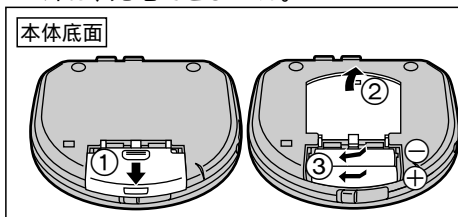
充電式電池で使うには

付属の充電式電池は、必ず充電してからご使用ください。

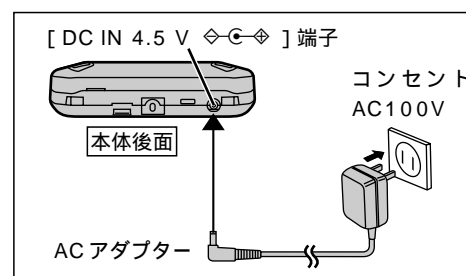
充電のしかた

1 充電式電池を本体に入れる

付属または別売りの専用充電式電池以外は、充電できません。

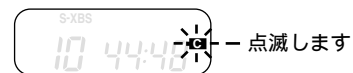


2 ACアダプターを接続する



充電開始！

充電中、本体の表示パネルには下記の点滅表示がでます。



点滅表示が消えたら、充電完了(フル充電)です。

付属の充電式電池の場合は約5時間かかります。

3 充電終了後、[DC IN 4.5 V]端子とコンセントからACアダプターを抜く

お知らせ

電源切状態(➡11ページ)でのみ充電できます。

充電中、ACアダプターと充電式電池は熱を持ちますが、異常ではありません。乾電池と充電式電池を、いっしょに本体に入れて充電しないでください。

充電終了後、ACアダプターをコンセントから抜いた後、本体の[DC IN 4.5 V]端子に接続したまま放置しないでください。(充電された電池が消耗してしまいます。)

充電時間とCD演奏/ラジオ受信可能時間

(付属充電式電池の場合)

充電時間	CD演奏時間	ラジオ受信時間
約5時間 (フル充電)	約11時間	約30時間

継ぎ足し充電できます

パナソニックの充電式電池は、電池残量を使いきらなくても、継ぎ足し充電が可能です。

充電可能回数は約300回

次のような状態になったら充電式電池の寿命なので、交換してください。

充電しても持続時間が極端に短い。

充電できない。

電源の準備 (つづき)

充電式電池で使うには

充電式電池の買い替えは

必ず下記の品番をお買い求めください。

- 単 3 形専用ニカド充電式電池 :

P-3GAV/2B (2 本組)

- 単 3 形専用ニッケル水素充電式電池 :

HHR-3AH/2B (2 本組)

(当社のポータブル CD プレーヤーは、安全確保のため一般の電池は充電できない構造になっています。)

付属または別売りの充電式電池



一般の乾電池 / 充電式電池



(本機では、充電できません。)

詳しくは、お求めの販売店にご確認ください。

ニカド充電式電池とニッケル水素充電式電池について

使用済みの電池は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで下記マークのあるリサイクル協力店へお持ちください。

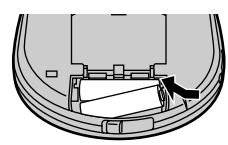


乾電池 (別売り) で使うには

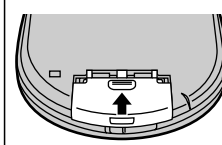
電池の出し入れ方法は充電式電池と同じです。(➡7 ページ)

- 単 3 形アルカリ乾電池 (LR6) を 2 本使用してください。(マンガン乾電池をご使用になると、極端に CD 演奏 / ラジオ受信時間が短くなります。)
- 乾電池を入れる前に、AC アダプターを取り外しておいてください。

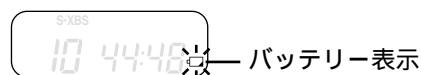
電池の取り出し方
矢印の方向に押しなが
ら持ち上げる



電池のふたがはずれ
たら
ふたを水平に差し込む



バッテリー表示が点滅したら



電池が消耗しています。しばらくすると電源が切れます。
改めて充電するか、新しい乾電池に交換してください。

お知らせ

点滅してからの CD 演奏 / ラジオ受信時間は、電池の種類によって異なります。
当社指定以外の充電式電池を使用すると、バッテリー表示が点滅しないことがあります。

AC アダプターで使う

AC アダプターを接続する

接続のしかたは、「充電式電池で使うには」の手順 2 (➡7 ページ) を参照してください。

必ず付属の AC アダプター (EIAJ 規格・極性統一形プラグ付) をご使用ください。付属以外の AC アダプターを使用すると故障の原因になることがあります。

長期間使用しないときは

節電のため本体の電源を切り、AC アダプターをコンセントから抜いておくことをおすすめします。[, OPR OFF] を押して電源を切った状態でも、AC アダプターが約 1.8 W の電力を消費しています。

カー電源アダプター (別売り) で使う

必ず当社指定のカー電源アダプターをご使用ください。(詳しくは、25 ページを参照してください。)

カー電源アダプターを使って自動車内で充電することもできます。

お願い :

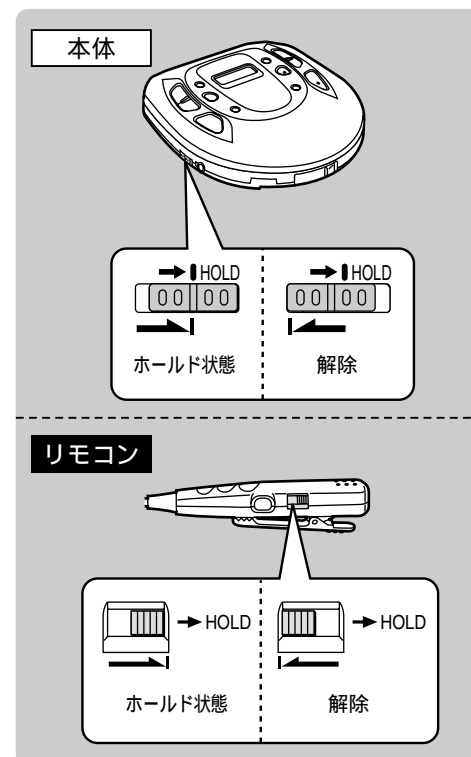
操作中に本体が動かなくなるなど、異常が起こったときは AC アダプター、電池などすべての電源をいったん取り外してください。その後、お買い上げの販売店にご相談ください。

ホールド機能

誤ってボタンを押しても、ボタン操作を受け付けないようにする機能です。(ただしふたの開閉はできます。)

次のようなことを防ぎます

知らない間に電源が入る。(電池が消耗する。)
使用中に CD 演奏 / ラジオ受信が中断する。

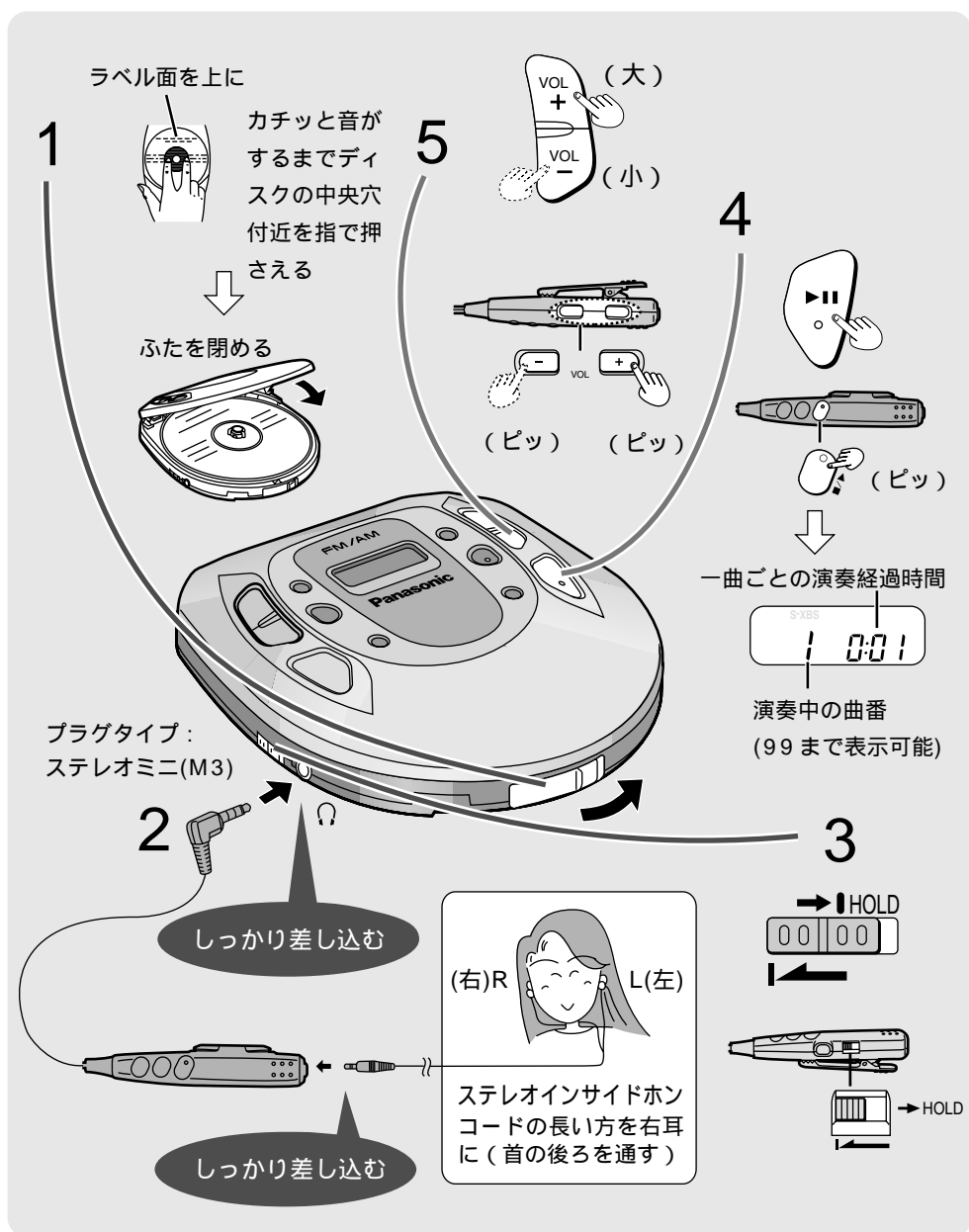


本体のホールド機能とリモコンのホールド機能は、別々に働きます。

ホールド表示について

本体がホールド状態のとき各操作ボタンを押すと "hold" と表示します。ただし、(電源切状態) (➡11 ページ) のときは [▶||] または [RADIO/BAND] を押したときのみ "hold" と表示されます。

CD を聞く



CD を聞くときのリモコンの確認音について

リモコンの操作ボタンを押すたびに、「ピッ」などの確認音が鳴ります。確認音の鳴り方については、上記図中および表中のかっこ内で説明しています。

- 1 [OPEN ▶]つまみをスライドさせてふたを開け、ディスクを入れる
- 2 リモコンとステレオインサイドホンをつなぎ、[] 端子に接続する

注

プラグはグッと奥まで差し込む
差し込みがゆるいと音が鳴ってもリモコン操作ができません。

- 3 ホールド状態を解除する
- 4 [▶||] (本体) または [▶/■] (リモコン) を押す
電源が入り、演奏が始まります。
全曲の演奏が終わると自動的に停止します。

5 音量を調節する

- 音量レベルは0 ~ 25 で調整できます。(押し続けると連続して切り換わります。)
- 音量レベル表示中に押し続けて調整してください。
- AC アダプターを抜いたり、電池を取り出すと、音量レベルはしばらくして10に戻ります。

操作	本体	リモコン	表示パネル
演奏を一時停止する	演奏中に押す 		
演奏を止める 停止状態	演奏中に押す 	演奏中に押す (ピッ ピ)	総演奏時間 18 44:48 総曲数
電源を切る 電源切状態	停止状態で押す 	演奏中または停止状態のときに長押しする (ピッ ピーツ)	
前後にとび越す スキップ	演奏中に押す ●前曲の曲頭に戻るには2回[◀◀◀◀]を押ししてください。 進む 戻る 演奏中に押し続ける	演奏中に押す ●前曲の曲頭に戻るには2回[▶▶▶▶]を押ししてください。 (ピッピ) 戻る (ピッ) 進む 演奏中に押し続ける	プログラムプレイ(13ページ)中は、予約された曲の順序で前後にとび越します。 ランダムプレイ(14ページ)中は、演奏し終わった曲にとぶことはできません。 プログラムプレイ(13ページ)や1トラックリピート、ランダム、ランダムリピートプレイ(14ページ)中は、演奏中の曲の中だけでサーチします。
早送り・早戻りする サーチ			

CD を聞く(つづき)

■リジューム機能について

停止状態 (⇒11 ページ) または **電源切状態** (⇒11 ページ) のあと、本体の [▶▶▶] またはリモコンの [■/▶] を押すと前回停止した曲の頭から演奏が始まります。

○お知らせ

次の場合は 1 曲目から始まります。

停止状態でふたの開け閉めを行ったとき

電源切状態でディスクを交換したとき

電源切状態でディスクを交換したとき、リジューム機能が働く場合があります。

曲の終わり近くで電源を切ったときは、次の曲から演奏が始まる場合があります。

リジューム機能は自動的に働きます。機能を解除するスイッチはありません。

■“no disc”表示について

ディスクが入っていないとき、またはディスクが装着不完全な状態で本体の [▶▶▶] またはリモコンの [■/▶] を押すと、約 30 秒間表示します。

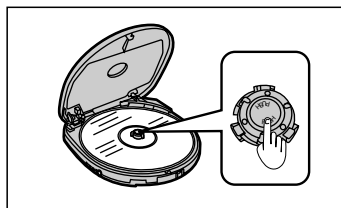
■“OPEN”表示について

ふたを開けると、約 10 分間表示します。(ただし、電源切時には表示しません。)

■オートパワーオフ機能について

停止状態や一時停止状態で約 10 分間放置すると、電池の消耗をさけるため、自動的に電源が切れる機能です。(ただしディスクが入っていないときは約 30 秒で電源が切れません。)

■ディスクを取り出すには(プッシュリリース)
ディスクの回転が停止したあと [PUSH] ボタンを押してディスクの固定を解除してください。(ディスクを保護するため、演奏中はふたを開けないでください。)



○お願い

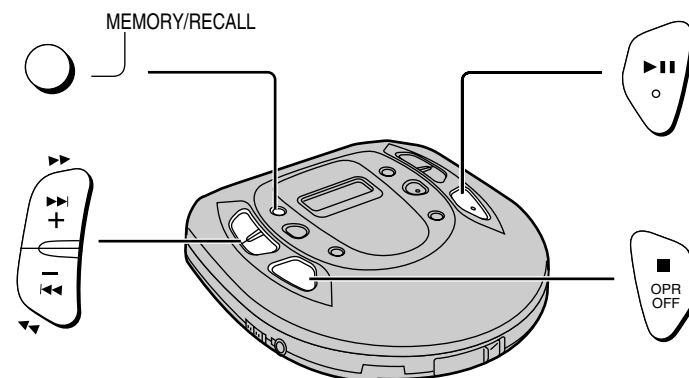
本体内部に異物を入れないでください。

CD-R/CD-RW の再生について

CD-DA フォーマットで記録され、録音終了時にファイナライズ※された音楽用 CD-R と CD-RW 再生に対応しています。ただし、記録状態によって再生できない場合があります。

※音楽用 CD-R/CD-RW 再生対応機器で再生できるよう処理すること。

便利な使いかた

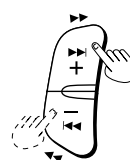


予約順に聞く (プログラムプレイ)

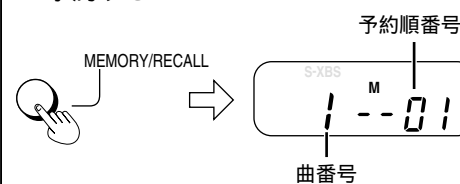
最大 24 曲まで予約できます。

準備: **停止状態** にする (⇒11 ページ)

1 好みの曲番を選ぶ



2 予約する



(表示パネルに“M”表示と予約順の番号が表示されます。)

3 手順 1, 2 をくり返し、好みの曲番を予約する

4 [▶▶▶] を押す



同じ曲を続けて予約するには手順 2 のあと、[MEMORY/RECALL] をもう一度押す。

“f”が表示されたらこれ以上の予約はできません。(予約曲数が 24 曲を超えています。)

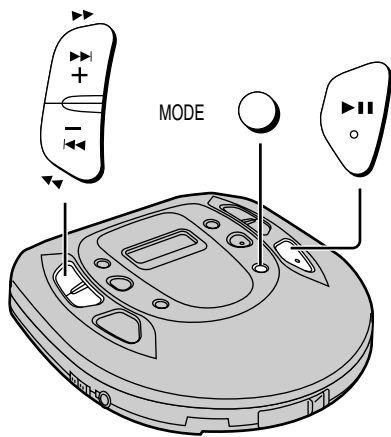
予約内容を確認するには演奏中に [MEMORY/RECALL] を押す。(表示パネルに、予約された曲番が順に表示されます。)

予約をすべて取り消すには [, OPR OFF] を押す。

○お知らせ

リピートプレイ、ランダムプレイ(14 ページ)のうち、いずれかの演奏モードに設定しているとき、左記の手順 1, 2 を行うと演奏モードの設定は解除されます。

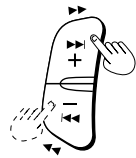
便利な使い方(つづき)



好みの曲から聞く (スキッププレイ)

準備: **停止状態** にする (▶11 ページ)

1 好みの曲番を選ぶ

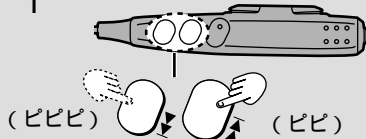


2 [▶||] を押す

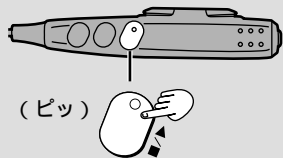


リモコンの場合

1



2



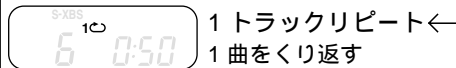
選んだ曲からディスクの最終曲まで順に演奏して自動停止します。

くり返し聞く(リピートプレイ) / 順不同に聞く(ランダムプレイ)

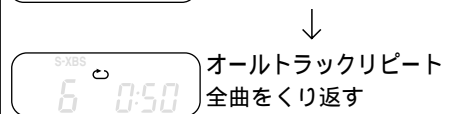
演奏中または停止状態のときに押す



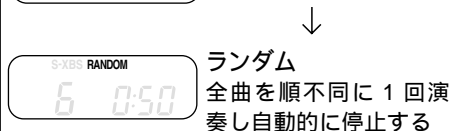
押すたびに以下のように切り換わります。



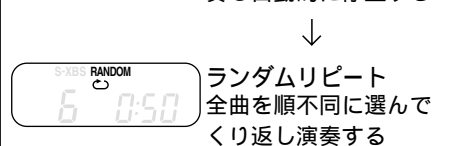
1トラックリピート
1曲をくり返す



オールトラックリピート
全曲をくり返す



ランダム
全曲を順不同に1回演奏し自動的に停止する

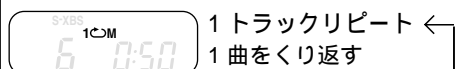


ランダムリピート
全曲を順不同に選んでくり返し演奏する

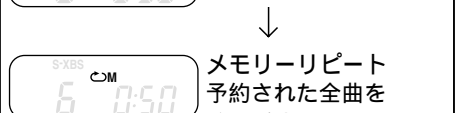
解除(表示なし)

プログラムプレイ中は

押すたびに以下のように切り換わります。



1トラックリピート
1曲をくり返す



メモリーリピート
予約された全曲をくり返す

解除("M"表示のみ)

お知らせ

停止状態でランダム、ランダムリピートを選んだ場合、[▶||]を押して最初の曲を変えることもできます。(どの曲からスタートしても全曲を演奏します。)プログラムプレイ(13ページ)中は、ランダム、ランダムリピートは選べません。ACアダプターを抜いたり、電池を取り出すと、しばらくして設定は解除されます。

耐振機能について

アンチスキップシステム
(ANTI-SKIP SYSTEM)

アンチスキップシステム
ANTI-SKIP SYSTEMとは

振動を受けたとき、あらかじめためておいた演奏データ(最大約40秒間)を使うことで、音の途切れを最小限に抑えます。

歩行中に生じる、ディスクの回転方向の振動に、影響を受けにくいしくみになっています。

本体の薄型・軽量化により、周囲からの振動の影響を受けにくいしくみになっています。

振動によって生じた光ピックアップのズレを素早く修正します。

本機の耐振機能(アンチスキップシステム ANTI-SKIP SYSTEM)は、電源が入っている状態では常に働いています。
(この機能を解除することはできません。)

連続的な衝撃を受けると・・・

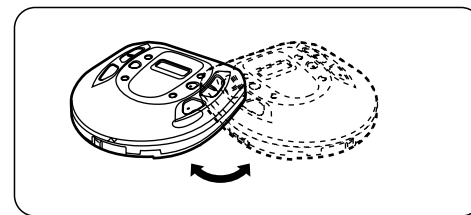


本機の耐振機能(アンチスキップシステム ANTI-SKIP SYSTEM)はデジタル信号圧縮技術を使用しています。

ラジオを聞く前に

アンテナの調整

AM放送
本体の向きを調整する。
(内蔵のフェライトアンテナが働きます)



FM、TV放送
ステレオインサイドホンコード、リモコンコードを束ねずに、できるだけ伸ばしてください。
(ステレオインサイドホンコード、リモコンコードがアンテナとして働きます)

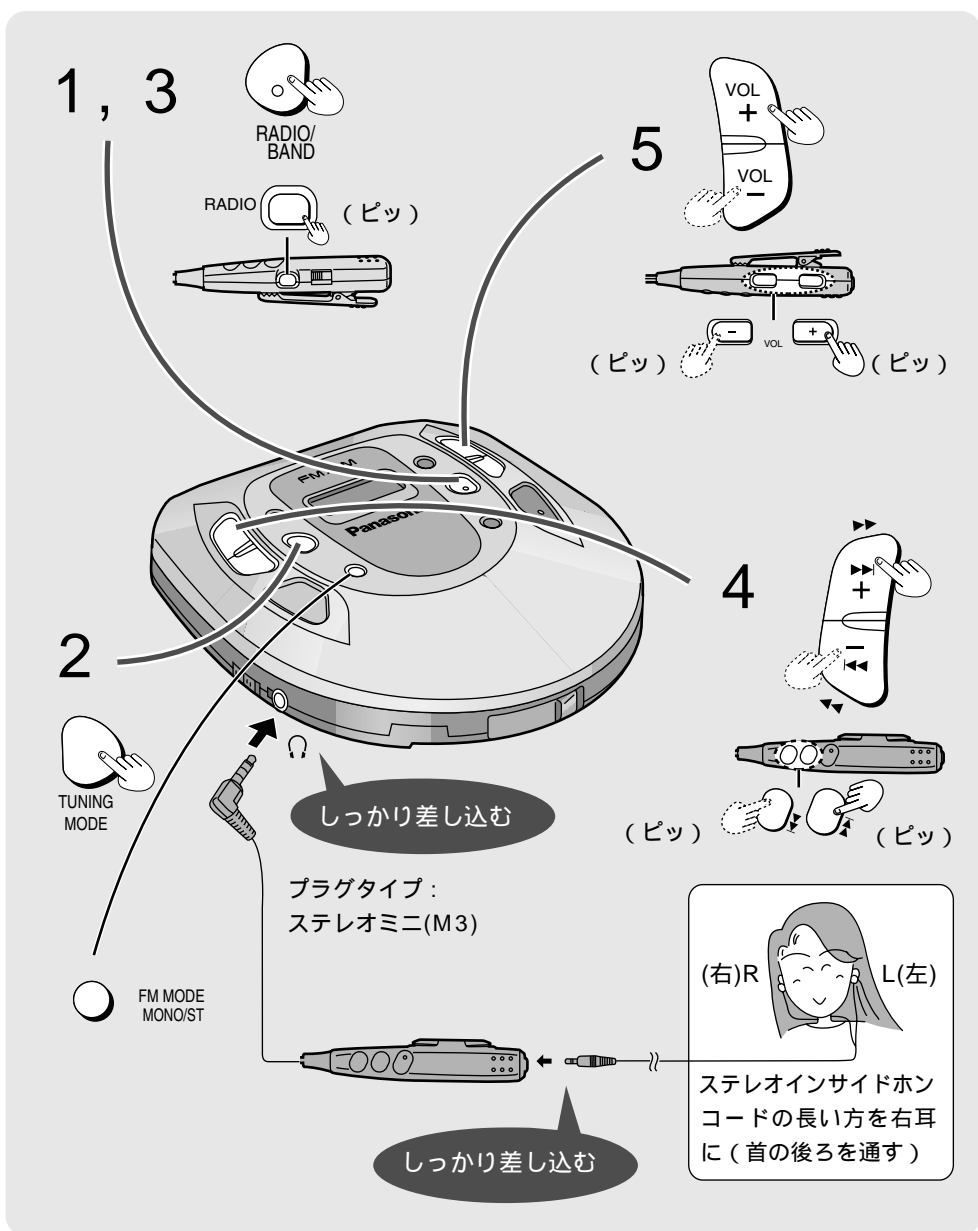
ラジオを聞く

放送局を選んで聞く

はじめに

- リモコンとステレオインサイドホンをつなぎ、[]端子に接続 (⇒10 ページ)
- ホールド状態を解除 (⇒9 ページ)

- TV1 ~ 3ch は、FM の周波数表示の間にあります。
(90.00-1ch-2ch-3ch-76.00)



1 [RADIO/BAND] (本体) または [RADIO] (リモコン) を押して、**電源を入れる**

2 “MEMORY” が表示されているときは [TUNING MODE] を押して、**表示なしにする** 本体操作のみ

表示なし



(“MEMORY” が表示されていないときは手順 2 は不要です。)

3 [RADIO/BAND] (本体) または [RADIO] (リモコン) を押して、**バンドを選ぶ**

押すたびに AM ↔ FM (TV1 ~ 3ch)

4 [▶▶▶▶+], [◀◀◀◀-] (本体) または [◀◀], [▶▶] (リモコン) を押して、**周波数 (TV1 ~ 3ch 含む) を合わせる**

お知らせ

- 1.5 秒以上押すと、自動選局 (オートチューニング) します。(⇒ 下記参照)
- 受信すると “TUNED” が表示されます。

5 **音量を調節する**

- 音量レベルは 0 ~ 25 で調整できます。(押し続けると連続して切り換わります。)
- 音量レベル表示中に押し続けて調整してください。
- AC アダプターを抜いたり、電池を取り出すと、音量レベルはしばらくして 10 に戻ります。

■自動選局するには (オートチューニング)

上記手順 4 で [▶▶▶▶+], [◀◀◀◀-] (本体) または [◀◀], [▶▶] (リモコン) を 1.5 秒以上押し続ける。

最初に受信した放送局で、自動停止します。好みの放送局を受信するまで、同じ操作を繰り返してください。

■ラジオの電源を切るには

[■], [OPR OFF] (本体) を押すか、または [RADIO] (リモコン) をピッ ピーッと確認音になるまで押す。

FM 放送のステレオ / モノラル切換

FM 放送受信中に [FM MODE MONO/ST] を押す

押すたびに

“MONO” ↔ 表示なし (ステレオ)



ステレオで受信中に雑音が多いときモノラル音声にすると、雑音が減って聞きやすくなります。

通常はステレオ音声でお聞きください。

乗物や建物の中では電波が弱まり聞こえにくくなることがあります。できるだけ窓際でお聞きください。

本機の TV 受信回路について FM 受信回路と兼用しているため、2 または 3 チャンネルに、FM が混信することがあります。

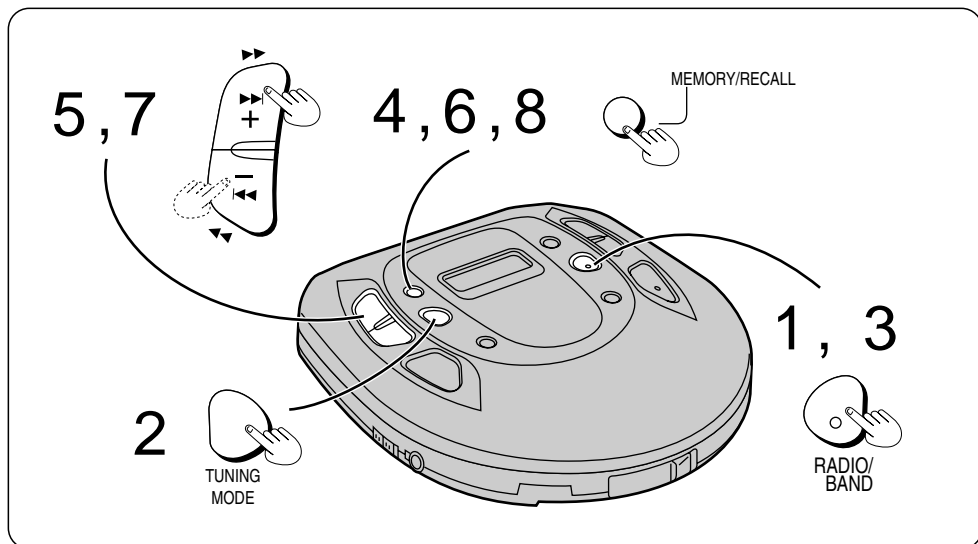
放送局を記憶させて聞く

好みの放送局を記憶させる

はじめに

- リモコンとステレオインサイドホンをつなぎ、[]端子に接続(⇒10ページ)
- ホールド状態を解除(⇒9ページ)
- 本体のボタンで操作

- FM(TV1 ~ 3ch含む)は20局、AMは10局ずつ、合計30局記憶できます。
- TV1 ~ 3chは、FMの周波数表示の間にあります。
(90.00-1ch-2ch-3ch-76.00)



■記憶した放送局を消さないために

放送局を記憶させるときはACアダプターを接続しているかあるいは電池が充分にあるか、確認してください。ACアダプターあるいは電池を取り外した状態でも、約1分間は記憶した設定を保持します。この間にACアダプターに接続するか、電池を入れてください。

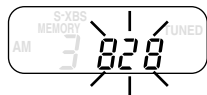
- 1 [RADIO/BAND]を押して、電源を入れる
- 2 [TUNING MODE]を押して、“MEMORY”を表示させる



(“MEMORY”が表示されているときは手順2は不要です。)

- 3 [RADIO/BAND]を押して、バンドを選ぶ
押すたびにAM ↔ FM(TV1 ~ 3ch)

- 4 [MEMORY/RECALL]を押す
周波数が点滅します。



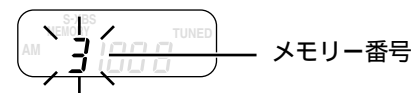
- 5 表示点滅中 約10秒以内 に
[▶▶▶▶+], [◀◀◀◀,-]を押して、記憶させたい放送局の周波数(TV1 ~ 3ch含む)に合わせる



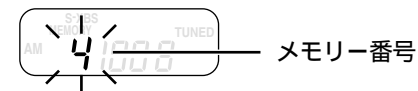
【お知らせ】

- 1.5秒以上押し続けると、自動選局(オートチューニング)します。(⇒17ページ)
- 受信すると“TUNED”が表示されます。

- 6 表示点滅中 約10秒以内 に
[MEMORY/RECALL]を押す
メモリー番号が点滅します。



- 7 表示点滅中 約10秒以内 に
[▶▶▶▶+], [◀◀◀◀,-]を押して、メモリー番号を選ぶ
選んだメモリー番号が点滅します。



【お知らせ】

- FMには20局、AMには10局ずつ記憶することができます。
- TV1 ~ 3chを記憶させる場合、バンド番号の“FM”は表示されません。

- 8 表示点滅中 約10秒以内 に
[MEMORY/RECALL]を押す
好みの放送局のメモリー番号と周波数(TV1 ~ 3ch含む)が記憶されます。



■表示点滅中にもとの表示に戻ったときは手順4からやり直してください。

■他の放送局を記憶させるには手順3-8を繰り返してください。

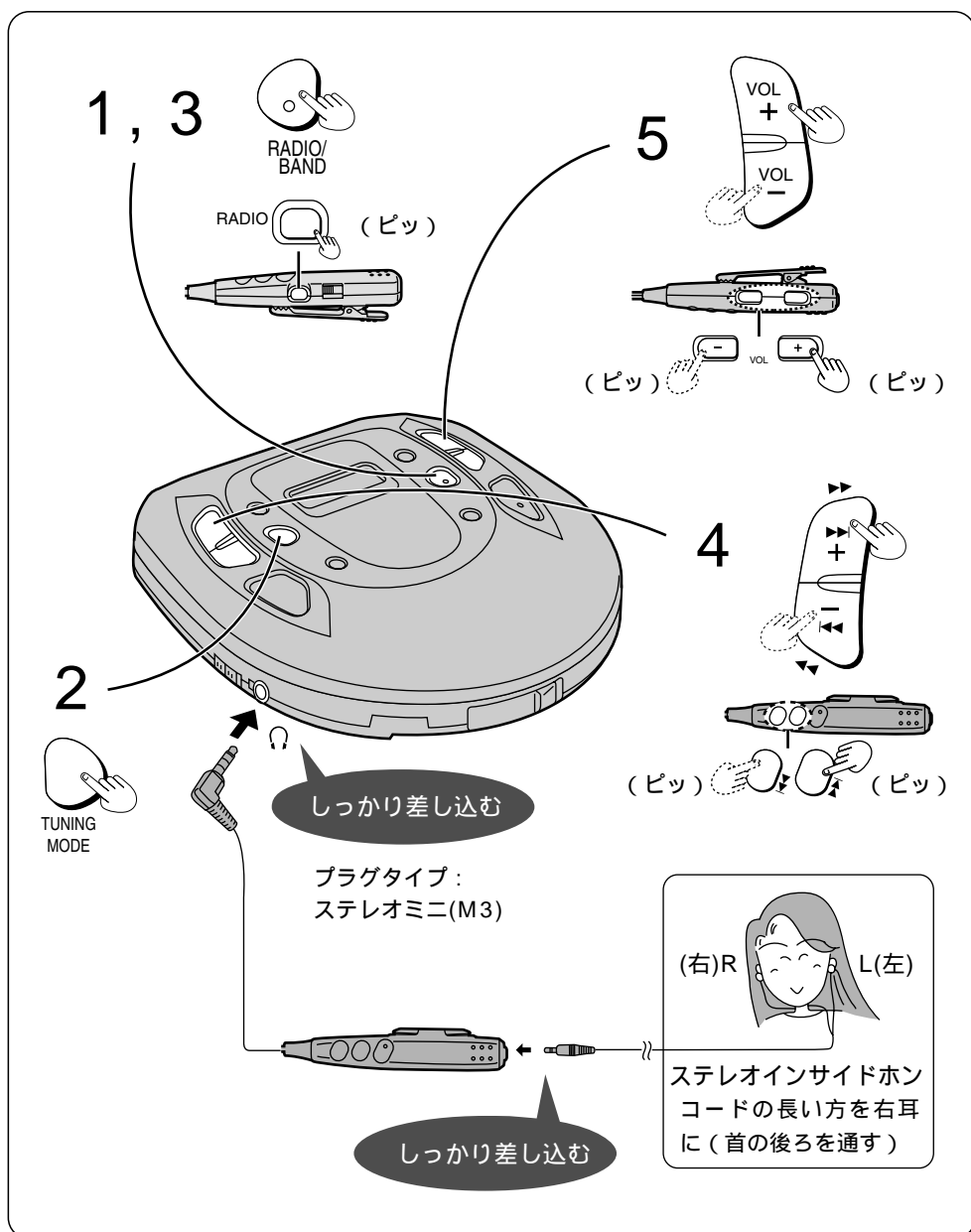
■記憶させた好みの放送局を聞くには「記憶させた放送局を聞くには」(⇒20 ~ 21ページ)をご参照ください。

放送局を記憶させて聞く

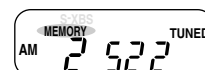
記憶させた放送局を聞く

はじめに

- リモコンとステレオインサイドホンをつなぎ、[H]端子に接続 (→10 ページ)
- ホールド状態を解除 (→9 ページ)



- 1 [RADIO/BAND] (本体) または [RADIO] (リモコン) を押して、電源を入れる
- 2 [TUNING MODE] を押して、“MEMORY” を表示させる
【本体操作のみ】



(“MEMORY” が表示されているときは手順 2 は不要です。)

- 3 [RADIO/BAND] (本体) または [RADIO] (リモコン) を押して、バンドを選ぶ
押すたびに AM ↔ FM(TV1 ~ 3ch)
- 4 [▶▶▶▶+], [◀◀◀◀-] (本体) または [▶▶▶▶], [◀◀◀◀] (リモコン) を押して、メモリー番号を選ぶ
【お知らせ】
● 受信すると “TUNED” が表示されます。

- 5 音量を調節する
 - 音量レベルは 0 ~ 25 で調整できます。(押し続けると連続して切り換わります。)
 - 音量レベル表示中に押し続けて調整してください。
 - AC アダプターを抜いたり、電池を取り出すと、音量レベルはしばらくして 10 に戻ります。

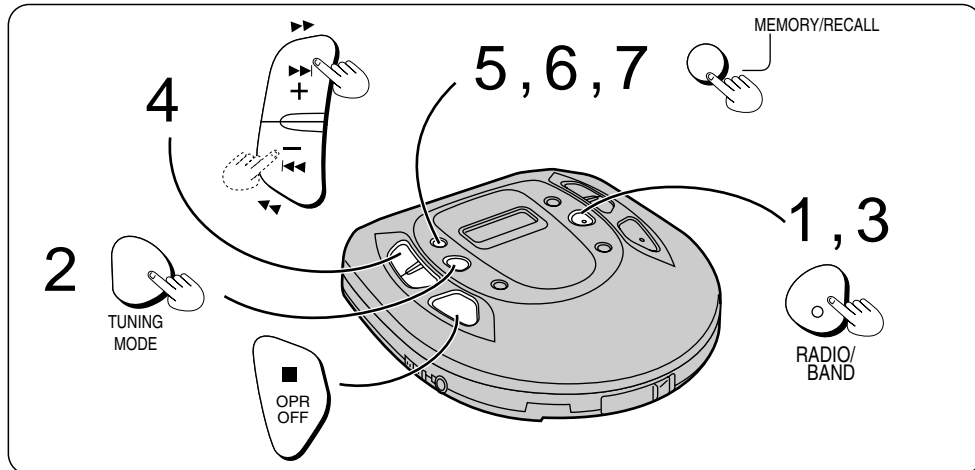
■ 使わないメモリー番号を消すには
「使わないメモリー番号を消すには」(→22 ページ) を参照してください。

■ ラジオの電源を切るには
[■], [OPR OFF] (本体) を押すか、または [RADIO] (リモコン) をピッ ピーッと確認音になるまで押す。

放送局を記憶させて聞く

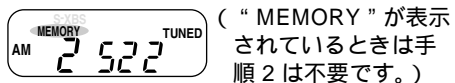
使わないメモリー番号を消すには

- はじめに
 ●ホールド状態を解除 (⇒9 ページ) ●本体のボタンで操作



1 [RADIO/BAND]を押して、電源を入れる

2 [TUNING MODE]を押して、“MEMORY”を表示させる



3 [RADIO/BAND]を押して、バンドを選ぶ
 押すたびに AM ↔ FM (TV1 ~ 3ch)

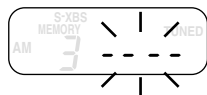
4 [▶▶▶▶+, ◀◀◀◀,-]を押して、消したいメモリー番号を選ぶ



5 [MEMORY/RECALL]を押す
 周波数が点滅します。



6 表示点滅中 (約 10 秒以内) に [MEMORY/RECALL]を “-----” が表示されるまで押し続ける



7 表示点滅中に (約 10 秒以内に) [MEMORY/RECALL]を押す
 メモリー番号が消えます。



■消したメモリー番号に記憶させるには
 18、19 ページの操作を参照してください。

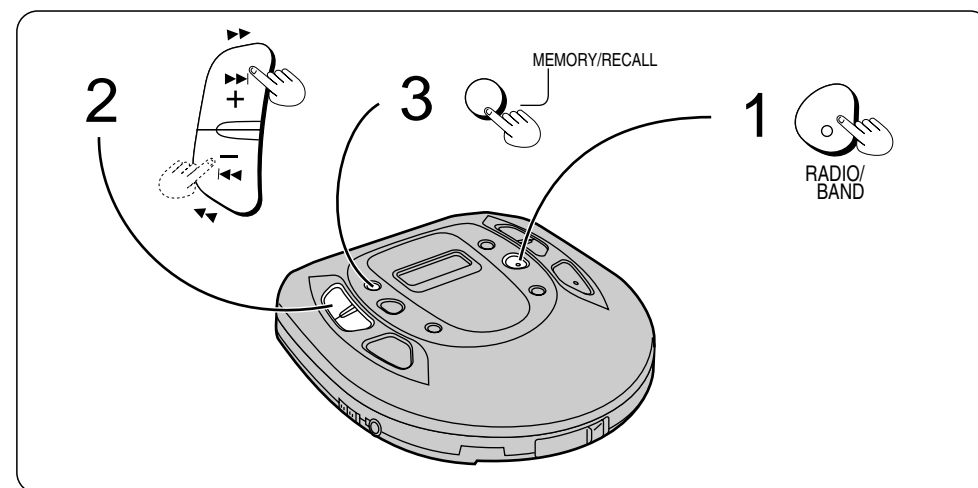
■ラジオの電源を切るには
 [■, OPR OFF] (本体) を押す。

海外で受信するには

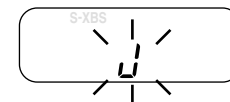
地域によって受信周波数ステップが異なります。海外で使用するときには、ステップを切り換えてください。

電源は地域によって異なりますので電池を使うことをおすすめします。

- はじめに
 ●ホールド状態を解除 (⇒9 ページ)
 ●本体のボタンで操作
 ●[RADIO/BAND]を押して、ラジオの電源を入れる



1 [RADIO/BAND] を約 5 秒押し続けて、ステップを点滅させる。
 “J” などのステップが表示されます。



2 表示点滅中に [▶▶▶▶+, ◀◀◀◀,-] を押して、地域に合わせてステップを選ぶ。

押すたびに、“J” ↔ “U” ↔ “E”

- J (日本国内) : FM 0.10 MHz, AM 9kHz
 U : FM 0.10 MHz, AM 10kHz (北米、中南米、東南アジアの一部)
 E : FM 0.05 MHz, AM 9kHz (ヨーロッパ、東南アジア)

3 表示点滅中に [MEMORY/RECALL] を約 5 秒押し続ける。
 点滅が消え、ステップが記憶されます。

お知らせ

ステップを切り換えると記憶させた放送局 (⇒18 ~ 19 ページ) は消えます。

海外ステップ (U : U. S. A., E : Europe) のとき

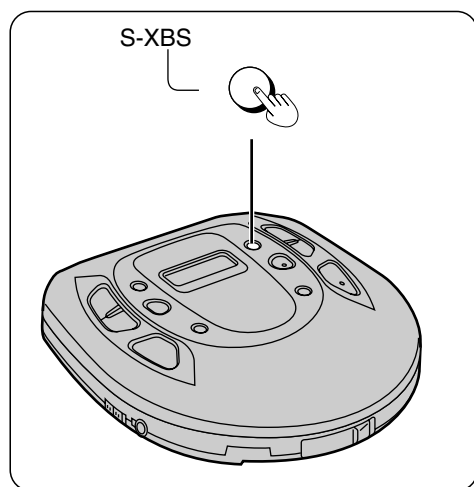
- TV 受信ができません。
- 受信周波数帯域が変わります。

音質を変えて楽しむ

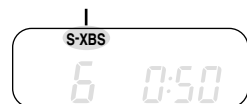
重厚で迫力のある音で音楽を楽しめます。

本体操作のみ

CD 演奏中、停止状態 (→11 ページ) またはラジオ受信中に押す。



押すたびに
“S-XBS” → 表示なし (解除)



S-XBS : 迫力ある重低音で聞く。
音がひずむときは音量
を下げてください。

表示なし (解除) : 普通の音質で聞く。

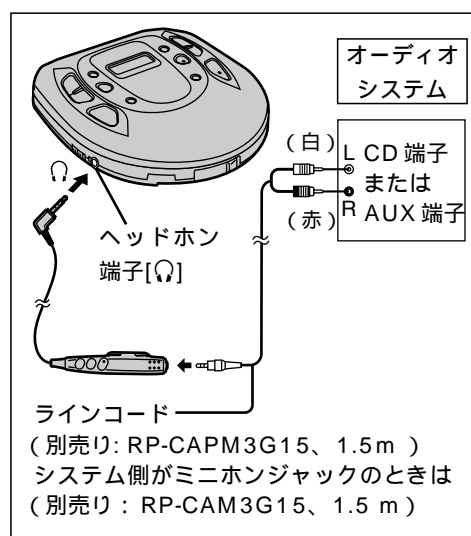
お知らせ

AC アダプターを抜いたり、電池を取り出すと、設定はしばらくして S-XBS に戻ります。

別売り品と組み合わせて使う

別売り品の品番は、2001年4月現在のものです。品番は変更されることがあります。

オーディオシステムに接続する



接続は、必ず本機のリモコンを介して行ってください。

接続は、オーディオシステムと本機の電源を切った状態で行ってください。アンプのプレーヤー (PHONO) 端子には接続しないでください。音量は、本機をレベル “10” に設定し、そのあとオーディオシステム側で調整してください。アンプ側から FM、TV 放送を楽しむ場合、本機のリモコンとステレオインサイドホンをつなぎ、本体のヘッドホン端子 (Ω) に接続し、コードを束ねずに、できるだけ伸ばしてください。リモコンコード、ステレオインサイドホンコードがアンテナとして働きます。

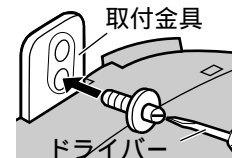
別売り品と組み合わせて使う (つづき)

カーオーディオに接続する

カーマウントキットで本体を車に取り付けて使う場合
カーマウントキット (SH-CDF20) をお求めください。
カーマウントキット (SH-CDF20) の内容
カー電源アダプター
カーステレオカセットアダプター
カーマウントベース
カーマウントアーム
アームカバー
カーマウントアーム取付金具
ばね座金ねじ ベルト
フェルト足 マジックテープ

カーマウントベースを取り付ける場合

カーマウントベースの後部にある取付金具の上部の穴からねじを取り外し、下部の穴に付けかえてください。



カーマウントキットを使わない場合
カー電源アダプター (SH-CDC9) と、カーステレオカセットアダプター (SH-CDM10A) をお求めください。

カーステレオカセットアダプターは本体のヘッドホン端子 (Ω) に接続し、本体の音量レベルを “10” に設定してください。

お願い

カーステレオカセットアダプター、およびカー電源アダプターは、必ず指定の品番のものをお使いください。上記の () 内が品番です。

お知らせ

カー電源アダプターを使ってお楽しみいただく場合、電池をいれておくことをおすすめします。エンジンを切ってカー電源を落とすと、音量、音質、記憶させた設定が初めの設定に戻ることがあります。またディスクを交換してもリジューム機能が働く場合があります。カーステレオカセットアダプターの構造上、車種やカーステレオによっては使用できないものもあります。ラジオ受信中に雑音が多いときは、本体をカー電源アダプターから離してください。

外部スピーカーで聞く

ステレオスピーカーを本体のヘッドホン端子 (Ω) に接続して使う場合、下記の品番のいずれかをお求めください。

RP-SP15/RP-SP18
アンプ内蔵 (音を増幅する) タイプ
RP-SP28/RP-SP30

アクティブスピーカーなどをご使用の場合は、入力インピーダンスが 1 k 以下のものをご使用ください。

別売り充電式電池を使う

単 3 形専用充電式ニカド電池 :
P-3GAV/2B (2 本組)
単 3 形専用充電式ニッケル水素電池 :
HHR-3AH/2B (2 本組)

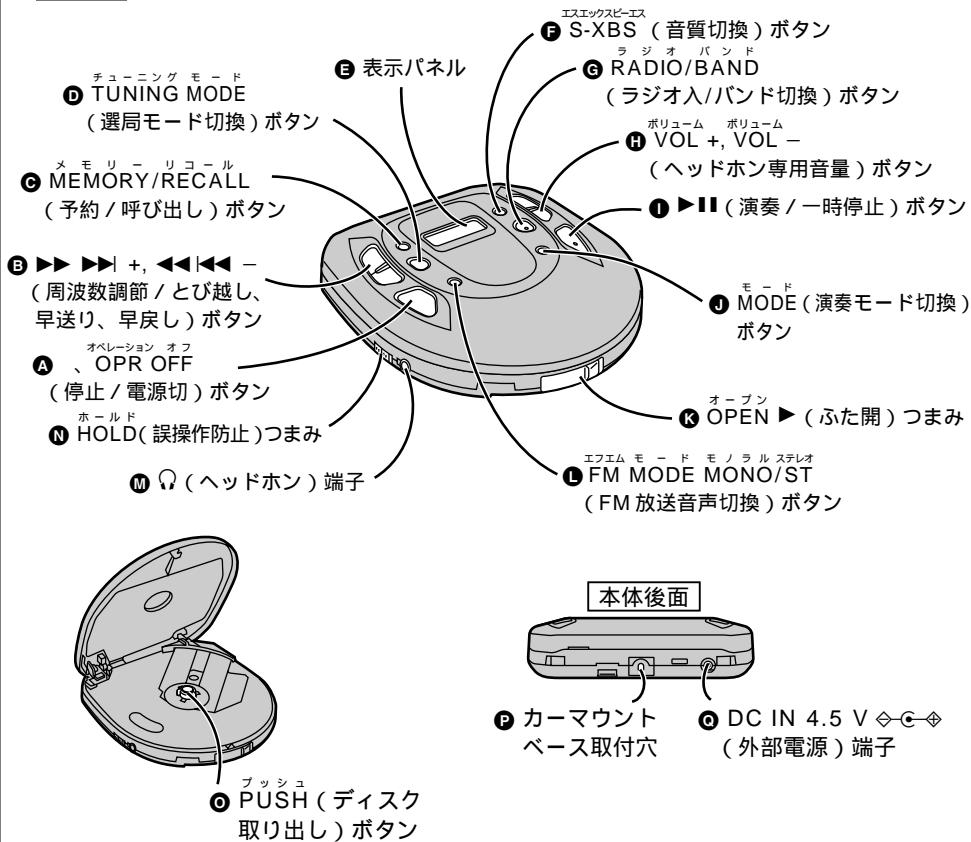
別売りインサイドホンを使う

リモコンに接続できるインサイドホン (ジョイントホン) をお求めください。
RP-HJ535 / RP-HJ237
(レギュラーサイズ)
RP-HJ333 / RP-HJ313
(スモールサイズ)

各部のなまえ

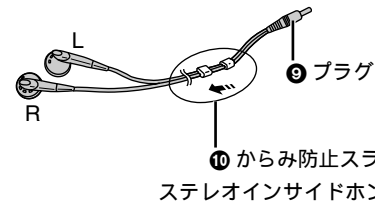
Operating Instructions

本体



ステレオインサイドホン

別売りのジョイントホンでもご使用になれます。(➡25 ページ)



Main unit

- A Stop/operation off button (◻, OPR OFF)**
- B Tuning/skip/search buttons (▶▶▶▶ +, ◀◀◀◀ -)**
- ▶▶▶▶ + Forward; increase the radio frequency or preset station
- ◀◀◀◀ - Backward; decrease the radio frequency or preset station
- Skip forward/backward: Press during play.
- Rapid forward/backward: Press and hold during play.
- C Memory/recall button (MEMORY/RECALL)**
- CD Program play**
- Press [▶▶▶▶ +, ◀◀◀◀ -] to select a track.
 - Press [MEMORY/RECALL] to program the track. Repeat 1 and 2 to program up to 24 tracks.
 - Press [■/▶] to play the tracks in programmed order. To check to tracks programmed, press [MEMORY/RECALL] during play.
- Radio presetting**
- Press [TUNING MODE] to select "MEMORY".
 - Press [RADIO/BAND] to select the band.
 - Press [MEMORY/RECALL].
 - Press [▶▶▶▶ +, ◀◀◀◀ -] to select the frequency.
 - Press [MEMORY/RECALL].
 - Press [▶▶▶▶ +, ◀◀◀◀ -] to select the memory number.
 - Press [MEMORY/RECALL] to complete presetting.
- Selecting preset station**
- Press [TUNING MODE] to select "MEMORY".
 - Press [RADIO/BAND] to select the band.
 - Press [▶▶▶▶ +, ◀◀◀◀ -] to select the station.
- D Radio mode selection button (TUNING MODE)**
- Selection of Free Mode or Memory Mode**
- Press to display " " or "MEMORY".
- E Display**
- F S-XBS button (S-XBS)**
- S-XBS: For extra bass.
- G Tuner on/off/band select button (RADIO/BAND)**
- Every time you press the button, the display changes as follows:
- "AM" ↔ "FM"
- For use overseas**
- Press and hold [RADIO/BAND] so the setting (e.g. "J") flashes.
 - Press [▶▶▶▶ +, ◀◀◀◀ -] to select the allocation setting.
- "J" (Japan) ↔ "U" (U.S.A.) ↔ "E" (Europe)
- ③ While the setting is displayed, press and hold [MEMORY/RECALL].

- H Volume control buttons (VOL+, VOL-)**
- I Play/pause button (■/▶)**
- In the stop mode : Press once to play.
- In the play mode : Press once to pause, press again to resume play.
- J Play mode button (MODE)**
- 1 track repeat play (1 ↻)
- All track repeat play (↻)
- Random play (RANDOM)
- Random repeat play (RANDOM ↻)
- All tracks are played randomly over and over.
- K Open switch (OPEN ▶)**
- L FM monaural/stereo button (FM MODE MONO/ST)**
- Selection of stereo or monaural FM**
- Press during FM reception.
- M Headphone jack (📞)**
- N Hold switch (HOLD)**
- This prevents the unit from operating if a button is pressed in error. It prevents situations such as :
- Play starting accidentally, causing the batteries to run down.
 - Play is interrupted while the unit is in use.
- O CD release button (PUSH)**
- Press to release the disc.
- P Hole for car mounting base**
- Q DC IN jack (DC IN 4.5 V ⚡)**

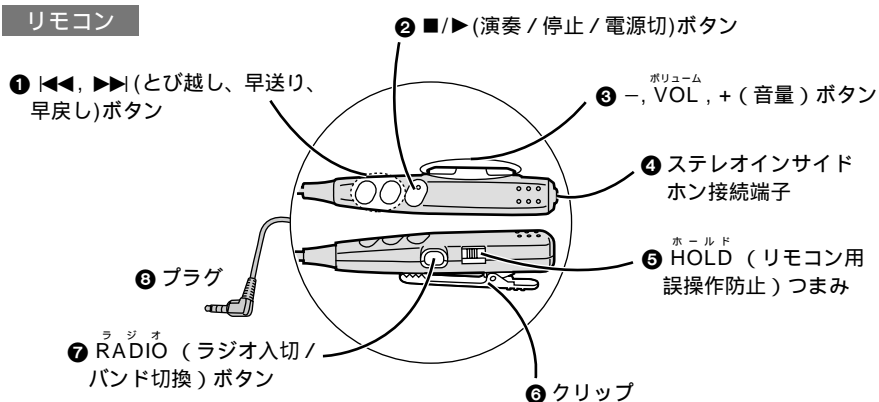
Wired remote control

- 1 Skip/search buttons (◀◀◀, ▶▶▶)**
- 2 Play/stop/operation off button (■/▶)**
- Press and hold to turn off.
- 3 Volume control buttons (-, VOL+, +)**
- 4 Earphone jack**
- 5 Hold switch (HOLD)**
- 6 Clip**
- 7 Tuner on/off/band select button (RADIO)**
- Press and hold to turn off.
- 8 Plug**

Stereo earphones

- 9 Plug**
- 10 Slider**
- Slide up to prevent entangling of the cord when the stereo earphones are not in use.

リモコン



お願い

付属以外のリモコンは誤動作の原因となりますので使用しないでください。

使用上のお願い

本体

以下のことは故障の原因となりますので、避けてください。

- 強い衝撃や落下
- 雨に濡らす
- 風呂場など、湿気の多いところでの使用
- 倉庫など、ほこりの多いところでの使用
- 暖房器具の近くなど、温度が高いところでの使用

インサイドホン

迷惑にならない適度な音量でお楽しみください。本体に巻き付けるときは、コードにたるみを持たせてゆるく巻いてください。

充電式電池

充電は、5 ~ 40 の場所で行ってください。初めて充電するときや、長期間使用しなかった後は、充電しても通常の演奏 / 受信時間より短いことがあります。その場合は、何回か充電させてください。通常の状態に戻ります。

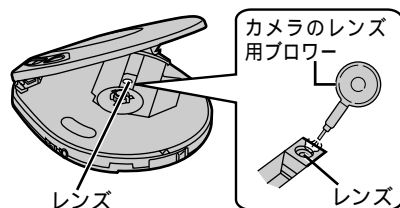
お手入れ

本体のお手入れ
柔らかい布でふいてください。ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、後はからぶきしてください。

アルコールやシンナーは使わないでください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。


レンズのお手入れ
ふたを開け、図のようにレンズをクリーニングしてください。万一指紋などがついた場合は、綿棒で軽くふいて下さい。

推奨品：CD レンズクリーナーキット
(SZZP1038C)

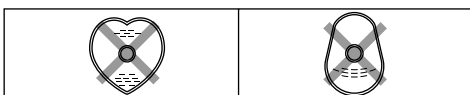


お知らせ
CD タイプのレンズクリーナーはご使用になれません。

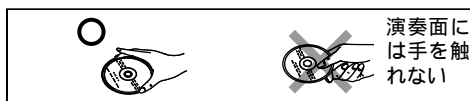
CD について

 このマークが入ったものをご使用ください。

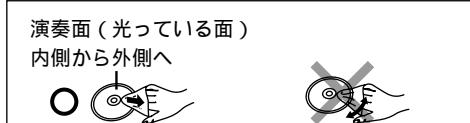
ただし、ハート型など特殊形状のCDは演奏できない場合があります。また演奏できる場合でも継続してご使用になると、本体の故障の原因となります。



持ち方



汚れたときは
水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。



露がついたら
急に暖かい部屋に持ち込んだときなど、露がついた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

保管しておくとき
次のような場所はさけてください。

- 直射日光の当たるところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 暖房器具の熱が直接当たるところ
- 自動車のダッシュボードの上や、リアウィンドウの近く

取扱上のご注意
CD そのものの破損の原因となる他、本体の故障の原因ともなりますので、次のことをお守りください。

- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない
- 傷つき防止用のプロテクターなどは使わない
- 紙やシール、ラベルを貼らない
- シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているCDは使わない

主な仕様

CD 部

- オーディオ
- チャンネル数： 2チャンネル（ステレオ）
- 周波数特性： 20 Hz ~ 20,000 Hz
(+ 0 dB ~ - 8 dB)
- D/A コンバーター： 1ビット MASH
- ヘッドホン出力レベル： 最大 6 mW + 6 mW / 16 負荷（可変）
- 信号フォーマット
- 標準化周波数： 44.1 kHz
- ピックアップ
- 光源： 半導体レーザー
- 波長： 780 nm

ラジオ部

- 周波数
- 受信周波数範囲; FM; 76.00- 90.00 MHz /
TV 1-3 CH
(0.10 MHz ステップ)
- 87.50- 108.00 MHz
(0.10 MHz / 0.05 MHz ステップ)
- AM; 522-1629 kHz
(9 kHz ステップ)
- 520-1710 kHz
(10 kHz ステップ)

- 総合
- 電源： DC 4.5 V
- 消費電力：

使用電源	CD / ラジオ
AC アダプター	2.4 W / 1.8 W

充電時の消費電力： 3.3 W

- 最大外形寸法（幅×高さ×奥行）：
128.5 × 31.6 × 133.5 mm (EIAJ)
- 質量： 約 264 g（付属充電式電池含む）
約 220 g（電池含まず）
- 使用温度範囲： 0 ~ 40
- 充電温度範囲： 5 ~ 40

CD 演奏 / ラジオ受信時間（EIAJ 規格）
（温度 25 で、水平に安定した状態で使用したときのおおよその CD 演奏 / ラジオ受信時間。）

CD 演奏 / ラジオ受信時間は使用条件によって短くなる場合があります。

使用電池	CD 演奏時間 / ラジオ受信時間
Panasonic 単 3 形アルカリ乾電池（2本）	約 25 時間 / 約 75 時間
付属ニカド充電式電池（約 5 時間充電時）	約 11 時間 / 約 30 時間
推奨ニッケル水素充電式電池（約 8 時間充電時）	約 17 時間 / 約 46 時間

電源「切」時の消費電力
..... 1.8 W (AC のとき)

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

保証とアフターサービス (よくお読みください。)

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は・・・
修理は、サービス会社・販売会社の「修理
ご相談窓口」へ！
その他のお問い合わせは、「お客様ご
相談センター」へ！

保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必
ず確かめ、お買い上げの販売店からお受
け取りください。よくお読みのあと、保
存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

補修用性能部品の保有期間

当社は、ポータブルCDプレーヤーの補修
用性能部品の、製造打ち切り後8年保有
しています。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能
を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

裏表紙の「故障かな!？」に従ってご確
認のあと、直らないときは、まずACアダ
プターを抜いて、お買い上げの販売店へ
ご連絡ください。

保証期間中は

保証書の規定に従って、お買い上げの販
売店が修理させていただきますので、恐
れ入りますが、製品に保証書を添えてご
持参ください。

保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、
ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構
成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交
換・調整・修理完了時の点検などの作業
にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材
料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣す
る場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容			
品名	ポータブルCD プレーヤー	お買い上げ日	年月日
品番	SL-SX289V	故障の状況	できるだけ具体的に

お取り扱い・お手入れなどのご相談

ナショナル/パナソニック
お客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル ☎ **0120-878-365**

FAX フリーダイヤル ☎ **0120-878-236**

365日 / 受付9時～20時

Help desk for foreign residents in Japan

〈外国人/海外仕様商品(ツーリスト商品他)等
ご相談窓口

Tokyo (03)3256-5444 Osaka (06)6645-8787

Open: 9:00-17:30

(closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

修理に関するご相談

ナショナル/パナソニック
修理ご相談窓口

ナビダイヤル(全国共通番号)

 **0570-087-087**

お客様がおかけになった場所から最寄
りの修理ご相談窓口につながります。
呼出音の前にNTTより通話料金の目安
をお知らせします。
携帯電話・PHS等からは最寄りの修理
ご相談窓口へ直接おかけください。
最寄りの修理ご相談窓口は、次ページ
をご覧ください。

ナショナル/パナソニック 修理ご相談窓口

北海道地区

札幌	札幌市厚別区厚別南 2丁目17-7 ☎(011)894-1251	帯広	帯広市西19条南 1丁目7-11 ☎(0155)33-8477
旭川	旭川市2条通2丁目 左1号 ☎(0166)31-6151	函館	函館市西桔梗 589番地241(函館 流通卸センター内) ☎(0138)48-6631

首都圏地区

栃木	宇都宮市御幸町 194-20 ☎(028)689-2555	千葉	千葉市中央区 星久喜町172 ☎(043)208-6034
群馬	高崎市大沢町229-1 ☎(027)352-1109	東京	東京都世田谷区宮坂 2丁目26-17 ☎(03)5477-9780
水戸	水戸市柳河町309-2 ☎(029)225-0249	山梨	甲府市下飯田2丁目 1-27 ☎(055)222-5171
つくば	つくば市花畑2丁目 8-1 ☎(0298)64-8756	神奈川	横浜市港南区日野 5丁目3-16 ☎(045)847-9720
埼玉	桶川市赤堀2丁目 4-2 ☎(048)728-8960	新潟	新潟市東明1丁目 8-14 ☎(025)286-7725

中部地区

石川	石川県石川郡野々市町 稲荷3丁目80 ☎(076)294-2683	名古屋	名古屋市瑞穂区 塩入町8-10 ☎(052)819-0225
富山	富山市寺島1298 ☎(076)432-8705	岡崎	岡崎市岡町南久保28 ☎(0564)55-5719
福井	福井市開発4丁目 112 ☎(0776)54-5606	岐阜	岐阜県本巣郡北方町 高屋太子2丁目30 ☎(058)323-6010
長野	松本市大字笹賀 7600-7 ☎(0263)58-0073	高山	高山市花岡町3丁目 82 ☎(0577)33-0613
静岡	静岡市西島765 ☎(054)287-9000	三重	久居市森町字北谷 1920-3 ☎(059)255-1380

近畿地区

滋賀	守山市勝部6丁目 2-1 ☎(077)582-5021	奈良	大和郡山市椎木町 404-2 ☎(0743)59-2770
京都	京都市南区上鳥羽 石橋町20-1 ☎(075)672-9636	和歌山	和歌山市中島499-1 ☎(073)475-2984
大阪	大阪市北区本庄西 1丁目1-7 ☎(06)6359-6225	兵庫	神戸市中央区 琴ノ緒町3丁目2-6 ☎(078)272-6645

東北地区

青森	青森市大字ハッ役 字矢作1-37 ☎(017)739-9712	宮城	仙台市宮城野区扇町 7-4-18 ☎(022)387-1117
秋田	秋田市御所野湯本 2丁目1-2 ☎(018)826-1600	山形	山形市流通センター 3丁目12-2 ☎(023)641-8100
岩手	盛岡市羽場13地割 30-3 ☎(019)639-5120	福島	福島県安達郡本宮町 字南/内65 ☎(0243)34-1301

中国地区

鳥取	鳥取市安長295-1 ☎(0857)26-9695	浜田	浜田市下府町327-93 ☎(0855)22-6629
米子	米子市米原4丁目 2-33 ☎(0859)34-2129	岡山	岡山県倉敷郡早島町 矢尾807 ☎(086)292-1162
松江	松江市西津田2丁目 10-19 ☎(0852)23-1128	広島	広島市西区南観音 8丁目13-20 ☎(082)295-5011
出雲	出雲市渡橋町416 ☎(0853)21-3133	山口	山口市鑄銭司字 鑄銭司団地北447-23 ☎(0839)86-4050

四国地区

香川	高松市勅使町152-2 ☎(087)868-9477	高知	南国市岡豊町中島 331-1 ☎(088)866-3142
徳島	徳島県板野郡北島町 鯛浜字かや108 ☎(088)698-1125	愛媛	松山市土居田町 750-2 ☎(089)971-2144

九州地区

福岡	春日市春日公園 3丁目48 ☎(092)593-9036	宮崎	宮崎県宮崎郡清武町 下加納366-2 ☎(0985)85-6530
佐賀	佐賀市本庄町大字 本庄896-2 ☎(0952)26-9151	熊本	熊本市健軍本町12-3 ☎(096)367-6067
長崎	長崎市東町1949-1 ☎(095)830-1658	天草	本渡市港町18-11 ☎(0969)22-3125
大分	大分市萩原4丁目 8-35 ☎(097)556-3815	鹿児島	鹿児島市与次郎 1丁目5-33 ☎(099)250-5657
		大島	名瀬市矢之脇町10-5 ☎(0997)53-5101

沖縄地区

沖縄	浦添市城間4丁目23-11 ☎(098)877-1207
----	---------------------------------

所在地、電話番号が変更になることがありますので、
あらかじめご了承ください。